

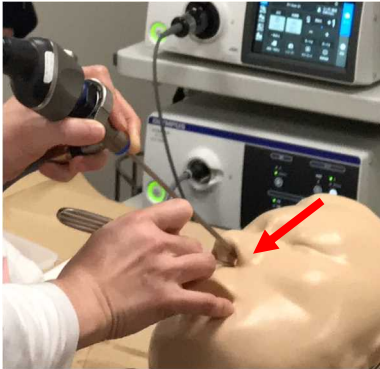
2019年 Basic Hands-on “Rhinology” manual(14分)

鼻の基本解剖と、内視鏡や鉗子の取り扱いを学びましょう！

まず自分の所属校と名前を講師の先生に伝えてください。

I. 硬性鼻内視鏡の取り扱い：4分

内視鏡を鼻の穴の上方に固定をして下に器械を挿入する space を確保するのがコツ！

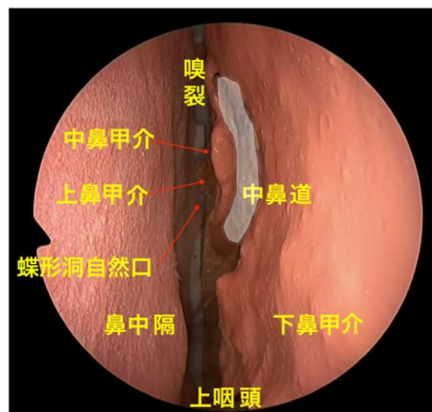
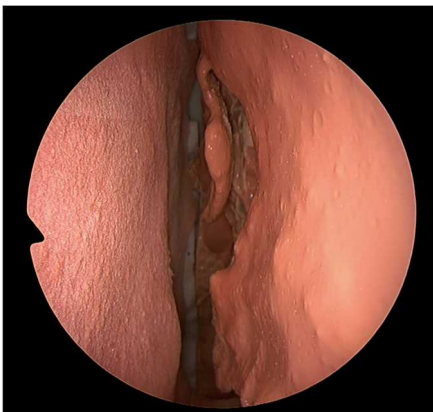


II. 硬性鼻内視鏡による観察と鼻内解剖の確認：4～5分

内視鏡を挿入して以下を同定して鑷子で触れてみよう！

- ①下・中・上鼻甲介を観察
- ②中鼻道の観察（鉤状突起、篩骨胞）
- ④上鼻道および嗅裂方向の観察
- ⑤蝶形洞自然口の観察
- ⑥上咽頭の角度

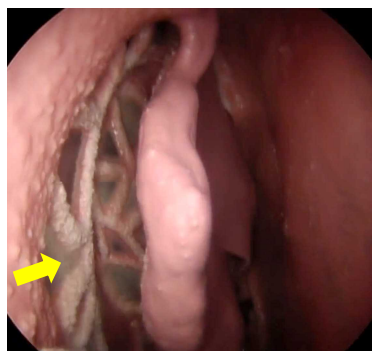
例：左鼻腔（使用モデルの内視鏡所見）



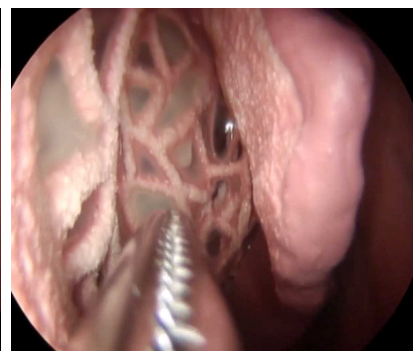
例：右鼻腔



右鉤状突起

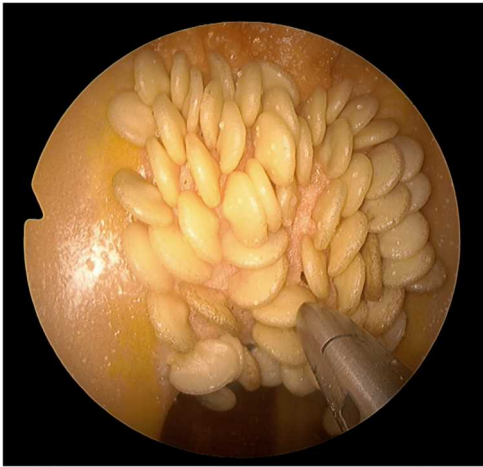


右篩骨胞



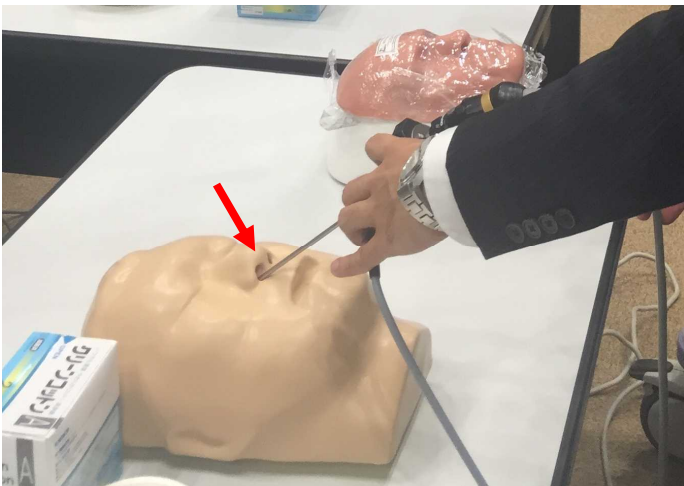
Ⅲ. 内視鏡下の鉗子操作：4～5分

パプリカの穴の中に内視鏡を挿入し、直の鋭匙鉗子で種を取ってみよう！
また、直の截除鉗子を用いてパプリカ内の中隔を切除してみよう！



Ⅳ. 斜視鏡による観察：(時間が余れば)

斜視鏡を挿入して自然口などを観察してみましよう。
鼻の穴の下方に固定をして上方に器械を挿入する space を確保するのがコツ！



時間が来たら修了証に講師のサインもらって次へ移動してください。